



# きずな

## 第12号

[発行]  
**市民運動園田地区推進協議会**  
 尼崎市食満5丁目8-46(園田東生涯学習プラザ内)  
 [お問合せ先]  
**公益社団法人尼崎人権啓発協会**  
 尼崎市東七松町1丁目23-1(市役所本庁内)  
 電話 06-6489-6815 FAX 06-6489-6818

# 地域の子どもを育てる11号

尼崎市子ども会連絡協議会園田西地区 代表 中桐 康晴

### 子どもの人権と大人の義務

子どもは群れて遊び、多くの体験から学び、健全に成長する権利があり、大人は子どもを慈しみ守り、時には論ずることにより健全に育成する義務があると考えます。

### 遠い昔の話

昔の子ども会の思い出としてキャンプ費用を賄うための、地区の盆踊りでの金魚すくい出店があります。夏休みになると地区の集会場に集まり、針金のポイに糊液を付け障子紙に押し付けて乾かす毎日でした。器用な子は下級生にポイの作り方を教え、絵の上手な子はボスターの量産など。夕方になると低学年から順次帰宅、6年生は部活帰りの中学生や地域の方と、予算の相談やボスターを張って貰える所、金魚の買付けに車を出して貰う交渉など、

### ちよつと昔の話

子ども会主体で準備をしていました。そこには、学年を超えた縦の糸、暖かく見守って頂いた地域の方々の横の糸があり、それぞれが輝いていました。

### 人口の話

(令和6年度末前年比人口)  
 少子高齢化が言われて久しい現状において、尼崎市全体では64歳以下が約1万人減少しています。これに対し園田地区は、64歳以下が市内で唯一約3千8百人増加しています。

### 子ども青少年の健全育成

いつの時代にあっても、子どもは地域の未来を担う宝です。宝は大切に仕舞っておくだけでは輝きません。子育て家庭への「福祉的支援」と併せ、子どもとの繋がりを深める「社会的育成」が健全育成の両輪です。今後とも皆様のご協力のもと、子ども会活動を行ってまいります。



園田地区の14歳以下市内の25%!  
 14歳以下では約1万2千3百人と市内の25%を占めます。これは子育て世代の転入が大きなポイントです。

## 『命を守るための対策は日々の活動から』

尼崎市消防団副団長 沖田 和夫



地元の尼崎市消防団園田第5分団に入団したのが、平成4年4月です。かれこれ入団して33年になります。わたくしが消防団に入ったのは、父親がやっていたのと同じです。たのしみですが、学生時代スポーツをやっていた体を動かすことが好きなのもあります。やってみようと思いましたが、入団してから大きな災害といえば、やはり平成7(1995)年に起こった阪神・淡路大震災になりました。新幹線の橋脚がへし折れて鉄筋がむき出しにな

### 防災訓練の大切さ

今後、起こるであろう南海トラフ地震も平均して117年間隔で発生しており、昭和21(1946)年の南海地震から79年が経ち、近いうち(20年〜30年)に起こるであろうと言われています。

そういう中、日々各地区で災害にそなえて防災訓練等の住民を交えて大災害が起きた時に何をしなければならぬかを体

### 防災意識を高めよう

消防団としては、今後も住民の生活の安全で安心な暮らしを守るため、地域の防災訓練を通して住民の方の防災意識を高めていただきたいと思っています。



## 地域の皆さんとともに良い地域づくりを ～地域振興センターの活動状況～

園田地域振興センター 所長 高橋 卓広



(市民運動の活動状況)



・地域を支えるスタッフとして、市民とつながり、ともに考え行動する。  
 ・個人や様々な団体が活躍できる場やしくみづくりに取り組み、多様な活動をつなぐ。

また、各小学校区に地域担当職員を配置し、次の4つの姿を目指し、地域発意による課題解決や魅力向上の取り組みを進めているところです。

私たち園田地域振興センターでは、まちづくりへの参加者を増やすためのプラットフォームフォームづくりや、講座・イベントなどを通じた学びの提供、地域活動の支援、各種相談業務、地域情報の把握・発信、本市各施策と地域をつなぐ役割などを担っています。

「地域を支えるスタッフ」として道半ば、

「園田東生涯学習プラザ」を新設しました。

・まちづくりに関する様々な情報を収集、活用し、知恵を絞る。  
 ・地域発意による課題解決や魅力向上の取組を支援する。

地域課ができて6年、途中コロナ禍も経験しつつ、地域自治を育むという新たなミッションは、旧来の行政職員の仕事のやり方とは異なり、試行錯誤と模索の連続の中、少しずつですが、顔の見える関係ができてきたと感じています。

「より良い地域づくりに向けて」

園田地域は、幸いにも地域の皆さんが「便利で、自然が多く、親しみを感じ、落ち着いたまち」と評価してくれており、「住み続けたい」と考えている方が8割を超える調査結果が出ています。また、地域のために活動されている方も多く、そうした活動が、より良い地域づくりにつながっていると実感しています。

園田地域がさらに暮らしやすいまちになるよう、引き続き地域の皆さんとともに考え、取り組んでいきたいと考えております。地域で一緒に取り組んでみたいこと、地域での困りごとなど、何かありましたら、遠慮なく園田地域振興センターにご相談ください。

園田地域振興センター  
 園田地域課  
 06-6491-2361

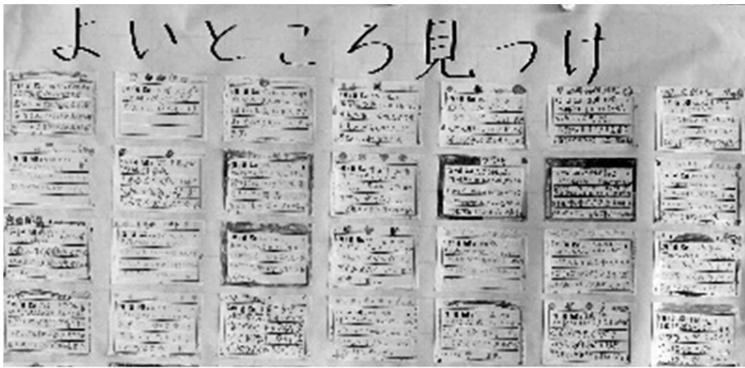
# 「園和北小学校の人権教育の取り組み」

尼崎市立園和北小学校 教頭 中野一哉

本校は『共に生き、自ら進んで、最後までやりぬく子の育成』という教育目標のもと、日々の教育活動に取り組みんでいます。そして、人権教育においては『自他を尊重し、ともに高め合う児童の育成』というテーマを設定し児童の人権意識の向上を目指してさまざまな取り組みを行っております。その取り組みの一端を紹介させていただきます。

友だちのいいところ見つけた！  
きらめきカードの掲示

子どもたち一人一人がそれぞれの良さを認め合う教育を進めるためにお互いの『いいところ見つけ』を行っています。具体的には、クラスの友だちのいいところを「きらめきカード」というカードに書き、廊下等に掲示します。「良いところ」だけ



ではなく「感謝の気持ち」をカードに書いて伝えることもあります。また、クラスメイトだけでなく先生や調理師さんに「感謝の気持ち」を伝えることもあります。

ファミリー活動で楽しもう！  
異学年での活動

本校では、異学年での交流をするファミリー活動という取り組みを行っています。具体的には、1年生から6年生までの児童数名ずつでファミリーというグループを作ります。そして、そのグループで遊びや掃除などのさまざまな活動を行います。異学



年での活動を通して高学年は高学年らしい行動をとり、低学年は高学年のお兄さんお姉さんの



ようになりたいと目標をもつようになります。子どもたちの自己肯定感や自己有用感を高め



られるように取り組んでいます。この他にも人権週間を設定し人権に関する授業を行ったり、人権書道に取り組み廊下などに掲示したりしています。このようさまざまな教育活動を通して、児童一人一人の人権に対する意識を高め今後も『自他を尊重し、ともに高め合う児童の育成』を目指していきたいと考えております。

## おぞの子ども居場所推進員会の活動

小園小学校地域学校協働本部 地域学校協働活動推進員(コーディネーター) 綾部 賀子



おぞの子ども居場所推進員会は平成31(2020)年に設立されました。小園小学校創立五十周年記念事業の記念誌発行等でお世話になった地域の方のご縁から、小園小学校区の中小島

連絡協議会会長、若王寺連絡協議会会長を顧問に迎え、小園小学校区に居住する子ども達の健全な育成を地域全体で支えることを目的とし、地域の皆様の協力を得ながら活動を続けています。将来を担う子ども達は国の宝であり、地域の宝でもある。健全な育成の為に学校や家庭だけでなく地域全体で子ども達の



社会性を育てようという思いが活動の根幹にあります。これまでの活動として小園小学校と連携した地域協働活動、夏休みの居場所開放、夏休みラジオ体操など、子ども達が安心して過ごす環境を整えることで世代を超えた交流を生み、互いの個性や多様性を尊重する心を育む機会にもつながっています。



寺子ども食堂、尼崎ケアセンタ「そよかぜ」さんからの協賛もいただき、ラジオ体操参加賞を渡す

つながって毎年開催されるラジオ体操では、小園小学校の一部にかかる浜第一連絡協議会、若王



くださる地域の方には90歳を超えた方もおられ、「来年も楽しみにしているよ」「元気な子からパワーもらってるよ」「毎年、公園アイドルが誕生しておもしろいわ」という言葉を頂き、世代を超えて支えあう関係が築かれています。子ども一人ひとりが大切にされ、安心して成長ができる

地域づくりの為に、地域・学校・家庭が手を取り合い、笑顔のあふれるまちななるよう、協働活動を続けていきます。

### 編集雑記

編集委員長 山口 昇次

先日、地域の保育所の運動会に行ってきました。保育所ではちゃんと門を閉めて、門の所には見張りのおじさんがいて、招待状などを見せないと中に入れてもらえません。今は当たり前ですが、園庭に入るには参観の父兄がずらり。私などが日ごろ付き合っている人たちが違ってみんな若いこと！考えれば自分の子どもよりもっと若いのだから当然ですね。園庭に目を向けると園児が一生懸命走ったり、飛んだりしています。

低い跳び箱を飛ぶことが出来ず、上を歩いている子。縄跳びを20回スイスイと飛ばすもいる一方、1回飛んでは引つ掛かり、1回ずつしか飛ばない子。鉄棒の逆上がりが出来ず先生に尻を押してやっと上がれる一方、逆上がりをしてそのまま3回も回転する子等様々でした。

でもゴールに入るとできる子どもでもない子も何のわだかまりもなく楽しそうに話をしていました。出来る子が出来ない子を馬鹿にするのではと心配していましたが、そんな事は無く楽しい風景でした。

## 人権法律相談

ネットトラブルの法的問題に詳しい  
弁護士が相談に応じます。

■人権法律に関する  
弁護士へのご相談

■ネット上の書き込み  
・削除依頼のご相談

無料  
2回まで

予約・お問い合わせ ※前日までに事前予約が必要です。

☎ 06-6489-6815  
FAX: 06-6489-6818  
(受付時間: 平日 午前9時~午後5時)

(公社) 尼崎人権啓発協会